

# 海外安全対策情報

【2019年1月～3月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様  
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、  
以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、  
時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴う  
揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報  
道されています。さらに、投資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返ってこない詐  
欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬物犯罪が後を  
絶たない状況にあります。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこと  
はもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しないように気をつけなければなりません。  
また、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

## 2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などで  
トラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点に  
ご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華やかな服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 故意殺人（膠州市）

2月25日、膠州市で夫が妻、9歳の女の子、5歳の男の子を凶器で殴打する事件が  
発生した。同夫婦は、再婚して3ヶ月しか経っておらず、子供は二人とも妻の連れ子  
であった。夫は、口論からそばにあった凶器で妻を殴打したところ、妻を殺してしま  
ったと思ったことから子供も殺そうと決意し、凶器で子供を殴打し家を出た。夫は、  
済南市にある実家に戻ったところ、事情を聞いた親戚に伴われて済南市警察に自首し、  
故意殺人で拘束された。

### (2) 放火（青島市）

1月上旬市北区警察は、昨年11月23日、道路上のゴミ箱に放火し付近駐車中の車

## 海外安全対策情報

---

両3台を延焼させた容疑者を検挙した。同容疑者は、当時酒に酔っ払った状態で道路上を歩いていたところ、おもしろ半分で燃えた紙をゴミ箱に投げ入れた、まさか車両に燃え移るとは考えてもいなかったと供述している。

### (3) 酔客の暴れ（萊西市）

1月1日未明、萊西市の飲食店で年越しの酒盛りをしていた男が、隣のテーブルの客と喧嘩になったことから、割れたビール瓶で複数の客を刺し怪我をさせた上に、厨房から包丁を持ちだし店内で振り回していたところを取り押さえられた。同男は、故意傷害罪、強盗罪などで執行猶予付死刑から減刑されて20数年の刑期を終え出所したばかりであった。

### (4) ひき逃げ、当て逃げ（青島市）

#### ア 死亡ひき逃げ（青島市）

12月、青島市城陽区において、乗用車が歩行中の老夫婦をはね、その勢いで反対車線の三輪オートバイと衝突、歩行者の内1名が死亡し、他2名が負傷した。運転手はその場から逃走したが、捜査の結果運転手が検挙され、体内から基準を超えるアルコール濃度が検出された。運転手によれば、酒を飲んで運転し、眠くなったのでハンドルにもたれかかりながら居眠りをしたところ、事故の衝撃で起き、怖くなったので現場から逃走したとのこと。

#### イ 死亡ひき逃げ（青島市）

1月10日午後6時ころ、西海岸新区の路上において老人をはねた車両がそのまま逃走するひき逃げ事故が発生、はねられた老人はその場で死亡が確認された。同日夜、男が交通警察部門に出頭し「運転中に電話していたところ、何かにぶつかり停車したが何もなかったのものでそのまま現場を離れた。先ほどその場所を通ったら人だかりとパトカーがいたので、怖くなり出頭した」と述べた。現場の遺留物と男の車両が一致したことから男の犯行と判明、男からは酒の臭いがしていたことから、飲酒運転の上ひき逃げをしたことも判明した。

#### ウ 当て逃げ（青島市）

2月6日、即墨交通警察に追突してきた車両が逃走したとの当て逃げ事故の通報が入った。追突された車両の運転手は車両番号をおぼえていたが、当該車両番号は抹消されており、逃走車両は偽造ナンバープレートを付けていたことが判明した。付近の監視カメラ映像を解析した結果、某マンションの地下駐車場で衝突痕のある車両を発見し、所有者を割り出した。同所有者によれば、当日親戚の家から帰るところで追突事故を起こしたが、偽造ナンバーであり逃走しても自分の車だとわからないだろうと思い現場から逃走したとのこと。

### (5) 窃盗（青島市、萊西市、徳州市等）

#### ア 連続自転車窃盗（青島市）

1月7日、城陽公安分局は2018年9月から自転車窃盗を繰り返していた容疑者

## 海外安全対策情報

---

を検挙した。同容疑者は、これまで4回窃盗での逮捕歴があり、出獄後も仕事に就かず、街中を物色しながらぶらつき、鍵のかかっていない自転車を見つけて盗み売り払って遊興費に充てていた。2018年9月からこれまでに6件の犯行を実行し、1500元位を得ていた。

### イ 連続店舗荒らし（青島市）

1月上旬、青島市市北公安分局管内において、夜間における連続店舗荒らしが発生した。発生地域が集中し、手口も似ていたことから同一犯の犯行として捜査が進められた結果、2018年5月に満期出所したばかりの男が、最近菏泽市から青島市への電車に乗ったことが判明した。25日、同男が菏泽市に戻ったことが判明したため、菏泽市で同男の身柄を確保し尋問したところ、これまでに30件、被害額20万元の犯行を行っていた事を自供した。

### ウ バッテリー盗難（青島市）

3月9日、青島市市北警察は市北区において駐車中の車両からバッテリーを連続して盗んだ2人組を検挙した。同2人組は、電話で集合場所を決め集合し、一人が見張りをして、一人が車両からバッテリーを取り出す犯行を行い、5,6日間で10件強の犯行を敢行し、20数個のバッテリーを窃取し1万元強を得て金を山分けしていた。

### エ 携帯電話盗難（青島市）

3月10日青島市公安局は、青島市西海岸新区のネットカフェで携帯電話を窃取した男を検挙した。同男は2018年8月19日午前4時頃、ネットカフェで寝ていた客が机の上に置いていた携帯電話1台を窃取し、当日午前中に携帯電話を売り払っていた。警察が同男の行方を捜していたところ、3月10日、別のネットカフェにいるところを発見し検挙した。

### オ 連続車上荒らし（青島市）

3月13日、青島市内の路上に駐車していた10数台の車両の窓ガラスが割られ、車内の財物を窃取される連続車上荒らしが発生した。警察が付近の監視カメラ映像を解析したところ、容疑者がガラス越しに車内を物色していたことを確認、同日11時頃、同容疑者が香港中路のネットカフェにいるのを発見し、鞆から犯行道具と窃取した財物を発見し検挙した。同容疑者は19歳で窃盗の前科が多数あり、2月に刑期を終え出所したばかりであった。

### カ 盗品ひったくり（青島市）

3月15日、男性が自分の物を盗まれたと110番通報したことから、警察が現場に向かったが、通報者もいなくなっていた。通報者を探し出して事情を聞いたところ、通報者が14日夜にたばこ屋から数百箱のたばこを盗み某店で売り払おうとしたが、盗品であることを見破った同店店主が買い取りを断り、店主が知り合いに通報者が同店から出たところで盗品を奪わせ、通報者が盗品にもかかわらず通報した

ことが判明した。通報者は通報後、盗品であったことを思い出し通報場所からいなくなったが、通報者、店主、知り合い全て検挙された。

### キ 常習窃盗（莱西市）

3月19日莱西市公安局は、電動車を盗んだとして62歳の男を検挙した。同男は、2014年からこれまでに7回の窃盗検挙歴が有り、今年1月に刑期満了で釈放されたばかりであったが、職に就かず金もなかったことから、鍵のかかっていない電動車を物色し売り払うつもりで盗んだとのこと。

### ク 連続窃盗（德州市等）

3月20日、德州、濱州、淄博、東營で連続してひったくりやスリを行っていた男二人組が検挙された。男らは、一人が運転手役、もう一人が窃盗の実行役と役割分担を決め、老人や女性を対象にして、挨拶をするなどして近づき隙を見て盗みを行っていた。男らは、今年1月に保釈されたばかりで、これまでに各都市で合計10数件の犯行を繰り返していた。

## （6）詐欺（臨沂市、青島市、莱西市、濟寧市）

### ア キャッシュカードスキミング（臨沂市）

2018年11月臨沂市公安局は、決済用POS端末を改造して、カード情報等を記録する装置を埋め込み、回収したPOS端末からカード情報及びパスワードを盗み出し、空のキャッシュカードにカード情報を書き込んでATMから現金を引き出していたグループを検挙した。同グループは、QQを通じて機材、犯行手口を共有し、中国各地で犯行を行っており、検挙時は4つのアジトから30台のPOS端末、カード情報記録装置300個、空のキャッシュカード300枚を押収、10名の容疑者を検挙し被害額は100万元近くに及んだ。

### イ 支付宝詐欺（青島市）

1月6日、青島市に居住する女性に対して「先日購入した服から基準以上のホルムアルデヒドが検出されたため賠償します」との電話があった。それを信じた女性は、相手が送ってきた支付宝の二次元バーコードをスキャンし暗証番号を入力したところ、女性の残高からお金がなくなった。相手方が「システムのミスで、返金手続きを行えば返金することができる」と言ったため、再度言われたとおりに操作したところ、2度の操作で女性の残高から5万元がなくなり、相手方と連絡がつかなくなった。現在、警察により捜査中。

### ウ 美人局（莱西市）

3月上旬、インターネットで知り合った女性に会うために莱西市に来た男性が、棍棒を持った2人組の男から女性と関係を持ったことで脅され車のガラスをたたき割られたことから、警察に通報し女性と2人組の男が検挙された。同人らによれば、2018年10月から同様の手口で女性に会いに来た男性を脅してこれまでにそれぞれ500~1万元を奪っていたとのこと。

## 海外安全対策情報

---

### エ 電信詐欺（青島市）

3月青島市反電信詐欺センターは、取引会社の社長を騙った80万元の振り込み依頼があったとの通報を受け、公安部電信詐欺捜査対処プラットフォームを通じて当該振込先に指定された銀行口座を凍結した。当該口座からは、入金された金が他の銀行口座に振り込まれ、振込先の口座から更に別の銀行口座に振り込まれるなどして、4つの銀行、10余りの口座に振り分けられていたことが判明したことから、全ての口座を凍結し、詐欺被害容疑資金230万元の支払いを止めた。

### オ 当たり屋（済寧市）

12月27日済寧市公安局は、荷物の運搬をしていた三輪自動車と衝突し怪我をしたとして、治療費1万元をだまし取ったグループを検挙した。通報を受けた済寧市公安局が現場の監視カメラ映像を確認したところ、怪我をした人物が三輪自動車にぶつかりに行っていたことが判明した。同グループは最近、德州、濱州、泰安、済南などに行っていたと供述しているため、それらの地域でも犯行を犯していないか公安局が捜査中である。

### （7）川への転落死亡事故（徳州市）

1月5日、3名の子供の帰りが遅かったため付近を探していた親が、徳州市の川に張った氷の下に浮かんでいる子供2名を発見し引き上げた。他の1名も駆けつけた救助隊により川底から引き上げられたが、3名とも死亡が確認された。3名の小学生は、川に張った氷の上で遊んでいたところ、氷が割れ3名とも川に落ちた模様である。

### （8）コーチによる暴行（青島市）

2月3日、青島市内のスポーツジムの水泳教室に通っていた子供が、コーチにビート板で右目を殴打された。市南警察によれば、子供を殴打したコーチは行政拘留10日、罰金500元に処せられたとのこと。現在、子供の親とスポーツジムによる話し合いがもたれており、スポーツジム経営者は15日か18日に協議内容について発表すると言っていたが、現在まで何ら発表されていない。

### （9）監視カメラによる車両ナンバー識別（青島市）

27日李滄区交通警察は、前後の車両ナンバーが一致していない車両を監視カメラで発見し手配、警察官が走行中の当該車両を発見し運転手を検挙した。運転手は登録していない車両をマンションの駐車場に駐車するため、登録してある他の車両のナンバーを付けて当該車両をマンションに駐車しており、いつもはマンションから出たらナンバーを外していたが、当日は外し忘れ検挙された。運転手は2000元の罰金と12点減点の処罰を受けた。

### （10）麻雀賭博（青島市）

2月中旬、青島市市北警察は市北区にあるピザ店を賭博容疑で捜索し、賭博客8名を検挙、賭博用麻雀卓3台を押収した。同ピザ店は、営業を開始してから20日余り



経っており、店内の個室3部屋にそれぞれ麻雀卓を設置し、麻雀客に賭博の場所を提供していた。検挙された賭博客はそれぞれ行政拘留5日の処分を受けた。

### (11) 賃金未払い(平度市)

近日、平度市の建設会社の経営責任者が賃金未払いで逮捕された。同建設会社は、2007年から平度市の産業地区内で水道管設置や外壁工事を行っていたが、2018年7月から12月までの157名分の給料472万元強が未払いとなっていたところ、会社の口座には1万元強しかなく、経営責任者は逃げるなどして支払いを免れていたことから逮捕されるに至った。

## 4. 治安対策等報道

### (1) 110番通報統計(青島市)

2018年1年間、青島市において110番通報により検挙された犯罪被疑者は1,600名強であり、110番懸賞通報により捜査した刑事犯罪は20余件、検挙人員50名強であった。また、被救助人員24万名、緊急搬送重病人100名強、失踪老人・児童保護1.3万人であった。青島市公安局では、110番指揮能力を向上させるため、各警察官に移動端末又は車載端末を持たせ、110番指令センターと緊密な連絡ができる体制を敷いている。

### (2) 電信ネット詐欺統計(青島市)

青島市公安局によれば、2018年1年間において電信ネット詐欺対策で停止した銀行口座は2882口座、支払い停止資金は6284万元、凍結口座は5682口座、凍結資金は1.94億元に及び、被害を防止された人は2.3万人、停止した詐欺容疑電話は1540回、被害を受けていると思われる電話を遮断したのが352回あった。また、合計746万元を被害者に返還した。

### (3) 交通違反統計(青島市城陽区)

城陽交通警察が公表した2018年の交通違反データによれば、城陽区全体で2027名が交通違反により12点を引かれ再試験を受けた。そのうち過半数の1020名が飲酒運転により12点を引かれた違反者であり、違反態様の中で一番多くなっている。他の違反態様としては、累積点数超過が25%、速度超過が14%であり、速度超過は自動取締の普及により減少が顕著である。

### (4) エレベーター事故件数(青島市)

2月26日青島市市場監管局の発表によれば、昨年末までに青島市では6.22万台のエレベーターが登録され、年間の増加率は+15%位であった。青島市エレベーター緊急処置通報台が昨年一年間で受けた通報は13,296件、処置した閉じ込め件数は2,188件、救助人数は4,827名、救急隊の現場到着所要時間は平均9.92分、現場での救急時間は平均4.82分であった。

## 海外安全対策情報

---

### (5) 飲酒運転取締強化（青島市）

青島市公安局交通警察部門は、2018年12月21日から飲酒運転取締強化100日安全行動を展開し、1月31日までの約1ヶ月で、酒気帯び運転1,990件、酒酔い運転394件を検挙した。また、同期間内における飲酒運転に起因する事故は、発生件数が前年同期比-21.7%、死傷者は同-35%となった。

### (6) 春節事件事故統計（青島市）

2019年の春節期間中、青島市内で発生した刑事事件は前年比-27.9%、交通事故は同-2.45%であり、テロ事件や重大な刑事事件、公共安全事故などは発生しなかった。また交通部門では、4.6万台の車両検問を実施し、140件の飲酒運転、38件の酒酔い運転を検挙した。今年の春節期間で青島市を出入りした車両は110.22万台であり前年比15.6%増加した。

### (7) 爆竹取締（青島市）

青島市関係執法機関によれば、春節休暇が終わり最初の出勤日となった2月11日、「仕事始め爆竹」を取り締まるため青島市内にのべ2115名の執法官が動員され、青島市内全域において、現場での違法花火爆竹制止が690件、行政処罰15件、合計4200元の罰金を科した。

### (8) 商標侵害取締（青島市）

即墨区市場監管局は2月下旬から1ヶ月間の知的財産権侵害行為取締活動を行っており、3月14日までに9,520社の製造会社を調査し、600社強に対して改善命令を出し、商標を侵害した疑いのある衣服、靴、鞆等を製造していた65社を立件し、販売価格40万元強の商品を押収した。

### (9) 売春取締（膠州市）

膠州市公安局は、膠州市に所在する「沙美島国際健康センター」で売春が行われているとの通報を受け、同健康センターを組織的売春容疑で捜索し、経営者、売春婦など40数名を検挙した。その後、吉林、河北、上海においても追及捜査を行った結果、売春組織を解明し、29名を刑事拘留、18名を行政拘留の処分に処した。公安局では、最高5万元の報奨金をつけて「売春・賭博・麻薬」の犯罪行為の通報を受け付けている。

### (10) キセル取締（青島市）

青島地下鉄は3月11日から17日の間、40駅において他人の優待を盗用する行為、無賃乗車行為を重点的に取り締まるキセル対策を行った。同期間の対策により、他人の敬老カード、学生カードなどを使用し乗車したキセルを183件、無賃乗車3件を取り締まった。他人の優待カードを使用した場合は、同区間の最高運賃の5倍の罰金（現在最高40元）、無賃乗車は発覚駅から一番遠い駅の罰金（現在最高8元）が科せられる。

(了)